

は其中の或組一に限つて、特に注意して個性を調べるといふやうにして居る、尙次の時には其各組の材料を交換して、同一目的の下に創作せしむる事もあり、或は新に共通的目的を指示することも在り、時には各組園児の自發的に撰擇した目的を採用することも在る。

斯くして自發的に意義ある設定保育を施して居るのである、併し此方法も現に研究中で在つて、其成績は今爰に明確に發表する事は出来ないが、此分團的取扱に就いて、今日迄に著しく感じた事が在るか、其れを箇條的に申述べて、本稿を了へやうと思ふ。

一、園児の皆が熱心になり、物に對して興味を持つ事。

二、精神が高潔快活に成り神経が靜平と成る。

三、自發性を養ひ、豊かなる生活が出来る。

四、幼兒相互に親密となる事。

五、相互生活に依つて同情心が厚くなる。

六、子供は子供らしい人格を作るやうになる。

七、意志の纏りがつく事。

八、注意力を養ふ事が出来る。

九、道具の引張り合ひの如き争ひ事が少なくなる事。

一〇、用具等の不足を來たすことを免れる。

以上日頃の研究實驗して居る、我幼稚園の保育其儘を卒直に無秩序に申し上げた譯で、何うか充分御批正下さるならば望外の幸である。

第二回全國幼稚園關係

者大會の記

てい子

既記の如く大會は左の日程を以て去る十月十七日

より十九日迄三日間大阪市公會堂で開催された。

第一日 十月十七日(神嘗祭) 午前九時開會
午後五時閉會

一、一同着席

二、唱 歌 君か代

三、開會の辭 大阪市保育會長

四、祝 詞 文部大臣以下 數 名

五、議長選舉

六、文部省諮問案討議

七、協議題 第一問第二問討議

正午休憩 午後一時開會

八、研究及意見發表(一人に付十五分以内)

九、講 演 フレーベルと現代思潮

京都帝國大學教授

文學博士 小西重直先生

第二日 十月十八日(土曜日) 午後正一時開會

一、協議題 第三問乃至第六問討議

二、研究及意見發表(一人に付十五分以内)

三、講 演 生活か教育か

東京女子高等師範學校教授 倉橋惣三先生

茶 話 會

餘 興 (舞樂其他)

第三日 十月十九日(日曜日) 午前九時開會

一、協議題 第七問第八問討議

二、文部省 諮問案討議

三、研究及意見發表(一人に付十五分以内)

四、閉會の辭 大阪市保育會長

見 學 (大阪朝日、毎日兩新聞社及築港其他)

(午後一時半指定の場所に集合のこと)

以 上

第一日

定刻には會場にあてられた公會堂には出席會員八百名それに傍聴者をも加へて九百に近き人が集まつた。場外では煙火が盛に打上げられた。會は豫定の如く進行し、先づ君ヶ代の合唱をはつて大阪市保育會長なる池上大阪市長の開會の辭、文部大臣中橋徳五郎氏及日本幼稚園協會々長湯原元一氏の長文の祝電の朗讀について大阪府知事の祝詞(代讀)終つて小畑市視學より本大會開催につきて諸準備の經過報告並に大會開催中の諸設備につきて丁寧なる報告の後大村茂樹氏議長に擇ばれ此處に文部省諮問案討議に移る。「幼兒の各年齢に適切なる保育事項如何」と云ふ諮問案に對しては生憎文部省側よりの説明委員來阪せざるためにその委員着阪までこの討議を延期すると云ふ説と大會出席者中より之が調査委員をあげて之が答申に當るを適當とすとの二説に分れたが、結局委員をあげて調査する事となり委員選舉は議長に一任し、選ばれた委員十五名は此日の午後から直ちに調査に係り慎重に審議をかさね同夜深更に至る迄この調査會は協議をつづけたのであつた。一方日程は協議題討議に移つた。

第一問 第一回全國幼稚園關係者大會に於て其筋に建議したる公立幼稚園の園長保母の資格及待遇につき其實施を促すことを再び建議すること

(參照)

1. 幼稚園保母の資格を正准二種とし正保母は小學校の本科正教員准保母は尋常小學校准教員と同等以上となすこと

但勤續十箇年以上にして成績優良なる准保母に對しては無試験檢定により正保母たるの資格を與ふること

2. 前項の資格ある公立幼稚園の園長保母には市町村立小學校教員と同一の待遇を與ふること

但從來の保母にして勤續十五箇年以上に亘り成績優良なるものには特別待遇法を設けること

(內容說明)

市町村立小學校教員の受くる年功加俸、疾病療治料、免許狀共通の特典を幼稚園長保母にも與へらるゝ様規則の改正を希望するにあり

大阪市保育會提出

第二問 公立幼稚園長及保母に對する待遇を改正せられたき件

但小學校教員免許狀を有せざる園長保母に對する場合

1. 公立幼稚園保母にして五ヶ年以上奉職し成績佳良なるものには年功加俸を附せられたきこと

2. 同前十五ヶ年以上奉職し退職の場合には退隱料を又十五ヶ年に達せずして退職のものに對しては退職給與金を支給せられたきこと

靜岡縣保育會

(說明)

右は大阪市保育會提出

參照 2 に於ける趣旨と本會提出協議題は同趣旨のものにて小學校教員免許狀を有せる園長保母に於ては明治三十三年法律九十號を以て提出題2の特典に預り居るも其他のものにありては何等の議なく候に付右提出題を提出致したるものにて之れを要するに大阪市保育會御提出參照1.2.及內容說明に於ける協議と全然同趣旨のものと存せられ候に付同時に附議せられたきものに候

第一問、第二問何れも二三の質問が提出者と會員との間に交換されて後に滿場一致其筋に再建議をする」と云ふ事に議決し協議題第三「幼兒に文字を教ふる

の可否」(京阪神聯合保育會提出)に移る。説明あり質問あり、二三討議に入つたが第四問なる「幼児の文字慾に對する取扱法如何」(廣島縣三原女子師範附屬幼稚園提出)及第五問「幼稚園時代に於て文字並に數の初歩觀念を與ふる可否、若し可なりとせば之が方法及程度如何」(富山縣女子師範附屬幼稚園提出)は何れも關係ある所から以上三問を合せて協議しては如何と云ふ發議あり滿場一致之に贊成し各問の説明質問について討議に移つた。議論百出の有様であつたが時は遠慮なく経過するので結局委員附託となり撰擧を議長に一任し此處に選ばれた九名の委員は直ちに別室に於て調査に移る事となつた。午後の研究題發表は順を追ふて進行した。

及川平治氏(明石女子師範附屬主事)は「保育科目に就て」と云ふ表題のもとに大要左の如き意見の發表があつた。

今「幼稚園事業に従事するもの考へなければならぬ重大な事の一つは保育事項の本質如何と云ふ事である。私は兒童にとつては生活と學習とは同じものであると考へる。例へば子供が蜻蛉をとらうと思つて追ひかける、手に捉む、逃げる、今度考へて帽子でとるゝと取れた、此時子供は要求に満足を得たので即ちこれは生活であり又其満足を得るために捉へ方を學習した事になる、幼稚園に於

ける保育は即ち學習である。が、私の此處に云ふ學習は書物をよむ事ではない、或る事に對する要求のために生ずる其行動の系統的に組織せられる事を云ふのである。換言すれば保育とは幼児の生活を導く事即ち實際手を動かし足を運んで、以て其の行動系統を組織するに他ならぬのである。實に自ら目的を有し自ら實行し、活動すると云ふ事が即ち眞の意味の學習に於ける自然の順序である。従つて保育科目とは何ぞやと云はば即ち子供の活動系統を整理する事如何と云ふ事が問題で決して先生が教材を子供に傳へると云ふ様なものではない。要は子供の現在の生活を如何に導くべきかと云ふ事で、これは保母その人の見識に待つ他はない。保育科目などと云ふならば之は之とも人爲的になつて子供の現在の生活からかけはなれやしない。元來幼児の實生活は決して離れぬものではなく生活を分類する事の出来るものではないが實際取扱の便宜上から之を分類する必要があるとするならばよく幼児の活動を洞察して如何にすれば子供の生活に應じた分類がなし得るやを考へなければならぬ。此立場から強いて分けるならば私は私は自然科、人文科の二つに分ちたい。自然科とは即ち自然物から直接學習をする事、例へば木の葉一枚についても之を観察により子供はそれからそれと云ふ事の経験を積む。粘土細工、剪り紙、畫き方など、必要に應じてはこの實物に基いて何を教へてもよいが只實物に依らずに符號としての文字を教ふると云ふ様な事をしたくないと私は思ふ。人文科と云ふのは即ち人間生活の模倣であつて子供が芝居をしたり兵隊ゴッコをしたりする事で、談話・唱歌などは自らこの中にはいつて来る。幼児の保育はなるべく戸外でしたい。従つて室は屋根だけあるものを多くしたい。戸外でする事は子供が自然界にふれる機會を多くし、

子供は喜んで自然物を取り入れて遊ぶ様になる。

要するに幼児教育の方法は米國などで謂ゆるプロシエクト法で出来る丈經驗の範圍を廣くし、場合を多くし、其の生活を一層有効に一層價值あらしめる様にすべきである、それ故に保育科目を如何にきめろかと云ふ問題は前から述べた様にその本質に於て既に個々の幼児の發達に應ずべきものであるから決して小學校の教科と同一視してはならぬ。全くこれは保姆その人の見識如何によるので、何處迄も子供の實生活に基いてその活動の系統を整理する事に根本があると私は信ずる。

米山えん氏(廣島縣三原女師附屬幼稚園)は「幼児の畫き方の實際案」と云ふ題下に有益な研究發表があつた詳細な印刷物を配布されて懇切に説明されたその内容は改めて次回に本誌上に發表する事とする。

次に京都帝國大學教授文學博士小西重直先生の講演「フレイベルと現代思潮」に移り(別項記載)かくて第一日の會を閉ぢたのは丁度午後五時であつた。

第二日

開會第二日の午前中は市内幼稚園參觀にあてられた。幹部の方々の懇なる斡旋によつて會員は一々案内されて思ひ／＼に參觀をした。特に此頃設立され

た大阪市立兒童相談所には三百人近くの來訪者があり、所員は應接に忙殺される有様の様に見受けた。全く新しい設備、新しい組織、新しい試みであるので社會事業の一つとして餘程幼稚園關係者の注意をひいた様であつた。市内各所の幼稚園はこの日平常の通り土曜日の半日保育が行はれたが何れも遠來の客の應接に忙しかつた様に見受られた。

午後の日程はまた豫定の如く着々進捗した。協議題第七問「小學校との連絡上、幼稚園手技を整理するの要なきか、若しありとせば之が程度分量如何。」(富山縣女師附屬幼稚園提出)は發題者の説明について質問あり、討議に移りては必要ありとするもの無しとするもの何れも論多く最後に議決となつたが、必要なしとの説多數を以て決せられた。第八問「幼児に敬神尊祖の念を養ふ方法如何」(私立小田原幼稚園提出)の協議題は多くの興味と期待とをもつて迎へられたにも抱はらず、發題者たる該幼稚園より來阪者なかりしたために自然消滅の姿となつたのは残念であつた。次で第六問の協議題に移つた。それは次の様な題である。

第六問 幼稚園に於て滿五歳以上にして發育良好就

學に堪ふと認めたる者に限り小學校に入學し得る様
法令を改正せられんことを其筋に建議すること

理 由

必ずしも滿六歳を待たずして就學に適するもの少
からざるは醫學者心理學者の認むるところにして
現に或部分の園兒に對し文字を教ふるに堪ふるこ
とは本會の經驗したる所なり既に斯く發達したる
兒童を更に一年間幼稚園に停滯せしむることは國
民の能力を向上せしむる上に於ても甚しき損失た
るを免れず殊に修學年限短縮の喧しき我邦に於て
は特に此點の改正を必要と認む是れ本問題を提出
する所以なり

京都市保育會提出

發題者の説明について質問に移つたが豫期した程の
發問も出ず、何となく議場は鎮まつて問題の比較的
重大なるにも拘はらず沈黙の中に時計は徒らに歩み
をすゝめる有様であつた。一刻千金の時はかくして
進み行くに議長は「質問なしや」と數回云はれた。
誰も發言せず、議事は進んで意見發表に入つた。會
員の一人が二十五年以前の自己の早教育の經驗より
之を是とし、ついでまた沈黙がつゞき、暫くして贊

成を宣する一員が壇上にあらはれた。議場は尙も靜
かに聲をたてぬ、そこで議長は決をとる事を宣した
此の際今更の如く議場はどよめき初めた。贊否の聲
喧々として、何れをも解しかぬる、拍手が所々に起
り、一しきり騒がしくなつた。其處でこの議題を翌
日の日程に譲つて更に討議を續くべしとの説に決せ
られ、直ちに會は、研究意見の發表に進んで行つた。
神戸市保育會の研究發表は第九「林間保育の成績」
の方を先にされた。疲勞研究に就て詳細の報告があ
つた。これも何れ項を改めて誌上に載せ得る事と思
ふ、第四「我園最近の保育方法に就て」名古屋市立
第一幼稚園の發表は大要左の如くであつた。

「我園は其園舎は誠に古いもので、今から廿年前に時の文部省
が充分よいものと認めたのであつたが時代の移るとともに今では誠
に學校教室の様に窮屈の感がある。昨年九月模様變へを以て保育は
事情の許す限り戶外で行ひ室内は敷物をしいて家庭的な氣分をつく
る様にし、玩具なども子供が家に於ける如く自由に弄び得る様にと
思ひ、談話、手工なども坐して出来る様にして居る。一方で話を
聞いてゐる者もあれば他方では手工に熱中して居るものもあると
云ふ工合に氣分を如何にも自由にする様にとつとめて居る。家庭的
と思ふ所から保姆は袴をつけず帯をしめては如何と云ふ事迄、このこ
ろ相談に上つてゐる位である。相圖に鏡を用ひず、組々で先生が受

持の子供を自分の室に待ち受ける様にしてゐる。全體を集める事は一ヶ月に三回位とし雨の日には皆共同して遊ぶ様にしてゐる。標本室とか玩具室とか云ふものを特別に置かず各室に玩具を備へてそれを子供が勝手に用ひ得る様にしてゐる。子供の製作品については一々之を家にもつて歸らせないで一つのものなるべく長く持たせる様に、そしてまた簡単なものから次第に複雑に構成して行く様にしてゐる。例へば染色をすればその出来た紙を更に反物につくり或は人形の着物に仕立ると云ふ様にして、使ひ得る丈け一つの材料を長く使はせる様にする。更に子供の作つたものを持ち寄つて一つのテパートメントストアをつくり先生も子供も一緒になつて大に打興する事もある。我園では百八十人の幼児に對して七人の保母が居るので此頃は出来る丈分團的にして子供の興味嗜好に適する様にしたいと努力してゐる。

かうした保育を最近一年近くの尙研究的に行つて居るのであるが其結果幼児が何となくのび／＼となつて來て保母と子供一人一人との間の親しさが増したと思はれる。唯幾分亂雜になつて清潔整頓などが欠けて來た様であるが、これらの短所は研究をつゞけ行く中になほす事が出来やうと思ふ。一層この保育法に研究をつゞけて行くつもりである。」

「幼児の文字學習力に就て」京都豊園幼稚園の研究発表があつたが詳細な記録が小冊子となつて會員一同に配布されたので此處にはその紹介を省く。

午後三時より倉橋惣三先生の「生活か教育か」と云ふ講演に移つた(この大要は何れ次號に掲載する。)

午後五時一同は池上大阪市長の招待を受け晚餐會に列した。公會堂三階の大食堂に八百餘名の人は食卓につき市長の挨拶會員總代の謝辭終つて會食は初まつた。六時半からは餘興に移り舞樂(加陵積の舞)、西洋音樂(三越音樂隊)、淨瑠璃(千代萩)：竹本源太夫)ひきつゞいて演ぜられ、歡をつくして家路にのいたのは夜の九時頃であつた。

第三日

定刻開會直ちに前日の協議題第六問の討議に移つた。問題が法令にかゝはる重大な事柄だけに前日の沈黙の時の多かつたにひきかへて今日は餘程論があつた。否とする者、可とするもの、修正を主張するもの保留説を稱ふるものなど一時議場は騷然たる有様となつた。かくて時間は益々切迫して來た。まだ數題の研究発表が控へてゐる。議長は遂に議決を宣した。多數によりつひに保留と云ふ事で決せられた次に文部省諮問案に對する調査の発表があり滿場一致で次の様に調査委員の原案通り議決してこれを大會の議長から其筋に取計ふ事となつた。

文部省諮問案答申案報告

文部省諮問案につき左記之通調査候條此段報告候也

委員長 田中三郎

委員 會津タガエ、足立由三郎

浦野みち、池上治八

竹田ミネ、岡 政

阪井善兵衛、田村金彌

朝尾清記、田村作太郎

松本朝吉、望月クニ

膳 たけ、及川平治

大正八年拾月十八日

議 長 殿

調 査 案

文部省諮問案

幼兒の各年齢に適切なる保育事項如何

本諮問案に對しては文部當局の御説明なきを以て本案の趣旨、其内容範圍の頗る不明なるを遺憾とす茲に於て本會は自由なる解釋を下し適切有效なる具體案を得べく慎重審議し以て左の結論を得たり

本大會に於て幼兒の各年齢に適切なる保育事項を選擇排列し其の具體案を作製するは不適當なりと

認む

其の理由左の如し

第一、幼兒の心身の發達は個人によりて差異あり單に年齢のみにより保育事項を選擇排列すべきにあらず殊に個人の自然的傾向を尊重し其の擴充を企つる保育事業に於てをや

第二、幼兒の心身の發達は環境により（特に都鄙により）て同一ならず従つて一の幼稚園に適切なる保育事項と雖も之を他の幼稚園に行ふて必しも良好なりと謂ふべからず

第三、前二項の理由によるも本大會の成案として各年齢に適切なる保育事項の選擇排列を爲し難きは明かなり

第四、保育事業たるや幼兒の全生活を誘掖補導するにあれば徒に遊戲唱歌談話及手技等各別に之を時間配當して課すべきにあらず宜しく幼兒の生活過程を統一的全體として善導すべきものなり

されば寧ろ小學校令施行規則第百九拾七條を適當に改正し以て保育事業に自由を許す要あるべし

第五、全國幼稚園に對して劃一的の保育事項を定むるは却つて弊害多く且又保育事業の進展を妨げるの虞あり

然れども各幼稚園に於て大に研究調査を進め其資料に基き幼兒の各年齢又は其の心身發達の程度に應し適切なる保育事項を選択排列して實施する事は大に望むところなり

要するに保育事業の良否は常に熱誠にして研究的態度を有する善良なる保姆其の人を得るや否やによりて決せらるものなり

されば當局に於て全國幼稚園に對して速に優秀なる人材の招致案を講せられんことを希ふ。』

續いて「文字及數に關する事項」の調査の報告があつた。委員長の説明に對して二三の質問あり、修正案も出たが最後にはやはり調査委員の原案通りに左の如く決定される事になつた。

文字及び數に關する事項報告

第三、第四、第五協議題につき左記之通り調査候條此段報告候也

委員長 土川五郎

委員 松山政治、松山マツノ

吉岡 歌、折井彌留枝

米山 えん、岩内誠一

浦川 ハル、山崎とさの

調 査 議 案 長 殿

一、幼兒は小學校に入學前に於て文字を知らんとする慾求盛に起るが故に之に對して満足を與ふるを至當と認む

二、取扱方法

遊戲的に之を取扱ふべし、強いて之を知らしめんとするが如き弊に陥らざらんことを要す

注意事項

1. 各幼兒が讀まんとし又は書かんとする要求に對し相當なる満足を與ふるを以て程度とすること
2. 文字は片假名及數字の範圍に止むるを適當とす
3. 幼兒の文字に對する慾求を満足せしむることは取扱上の一部に過ぎざるを以て保育上過重視せざらんことを要す

5. 幼稚園保育を終りたる兒童に對しては國語教授上小學校に於て十分考慮ある取扱あらんことを希冀す

三、幼兒期は未だ數觀念發達せざるの時期なるを以て之が初步觀念を與ふることを否と認む

以 上

次に研究及意見の發表に移つて。「保育上の所感に
ついて」大阪市東區愛珠幼稚園の研究發表は其主意
は大要次の如くであつた。

個性教育を重んずべき事、そのためには(1)先人の發見した真理を
徹底的に忠實に學ぶ事、子供に對しては徹底的に教ふる事が個性
教育の第一の要義である。(2)個性は昔から反對の境遇に立つ事を経
て來て居る、それ故に子供を同一の型に入れると云ふ事は對立的個
性の教育法をする事で少しもこれと矛盾はせぬ。

自發活動式にまかせて教師が傍觀的になるのは教師の教化の能率
が減ぜられる。それ故宜しく教育手段を定めて目的を徹底せしむる
がよい。

尙も研究發表は七題ものこつてゐる。時計は既に
十一時を過ぎた。この時大阪市の一役員より、京阪
神に屬する發表は之を聯合保育會誌上にのせる事と
して今は遠方より來會の諸氏にのみ發表の時を與へ
ては如何と云ふ發議が出て満場この意を賛成して第
十二「幼兒の畫き方に對する研究」(富山女師附屬幼
稚園)及第十三「人生の三大教育」(福島縣私立博愛
幼稚園)の研究及意見發表があつた。

富山縣の發表は大要左の如し。
一 入園時代の幼兒と畫き方發表

家庭に於ける幼兒の表象的繪畫嗜好 入園後に於ける畫き方の嫌

忌、之が原因と救済方法

一 幼兒に畫き方をなさしむる時期

三才、四才、五才孰れを可とするか 年長兒を可とする説 時期は
如何(四年第二期より) 本園に於ける實際的研究

一 幼兒に畫き方をなさしむる方法

初步觀念の養成 豫備練習 自由練習時代に於ける幼兒の性情發
揮 畫き方用具 雜記帖 鉛筆 色チヨーク 雜記帖使用の理由
雜記帖使用後の方法 用具の取扱ひ方に對する幼兒の實際 畫き
方に對する多大の興味と期待心

一 初步の畫き方に於ける材料の精選

最初の成效は幼兒に多大の感化を與ふ 幼兒の好愛する色彩觀念
描き方に對する趣味の喚起 手腕筋肉の練習に足る材料

一 野

原

後ろの野原、幼稚園の原等實際的命名

幾度も軽く塗抹せしむ、[※]線、[※]お日様、圓形を與へて畫か
せ赤く塗らしむ、野原に日の補充畫

二 美しい野原

練習的にして色彩、空、青、[※]日赤、草綠

三 野遊

人物を加ふ、人 繁簡 數種、靜的なる

もの、活動的なるもの、自由選擇、自由發表

四 お庭の菊

花赤と黃、概形を描へて其趣を描くを度

とす、隨意補充畫

五 菊の應用

大小不同のもの、人が花を見るもの、折

るもの、共に語るもの等應用自由

六 日の丸の旗

鉛筆にて輪廓を描く 運筆日の丸をまる

く塗る 應用 旗祭り、旗行列等隨意

七軍 艦 旗 旗を描き斜線を引く、交叉點を赤く塗り

て日の丸となす、應用 軍艦

八軍 旗 紫色の總を附す、總は其趣を寫す可と

す 應用 兵隊さん、軍ごっこ、各種各國の旗

九幼兒自由發表 此處までなましむれば、幼兒は畫き方に

對する非常の興味と、技能の初歩要領と、色彩に對する

色の鑑識力と美感とを知り、自由に思想感情を發表する

に至る

一 幼兒になましむる繪畫の種類

臨畫 記憶畫 想像畫 看取畫及寫生畫 圖案畫

幼兒になましむる寫生畫の意義 本園、幼兒等の寫生畫實際圖案

畫の方法

一 畫き方に對する指導方法及注意

イ 思想感情の發表を主とす、故に形式に付て餘り云爲するの要

なし

ロ 幼兒の觀察は皮相的なるを以て、内容少く、概念的なるを免

れず

ハ 繪畫に對する認識は、感情的にして理解的ならず、されば不

自然なる人工的模倣は、心理的要求に適應せず、故に思想の自

由發表を主とし、趣味に依て描寫せしめ、正確は第二段とす

べし

ニ 趣味は次第に觀察力の修練、概念の發達漸く進むに従ひ、手

指練習の必要を生ず、故に發表的手法の模範並に於て大に必

要となる

ホ 子供は斷片的思想の表出を主とす、故に之を組立て、意義あ

る畫となすことを指導すべし

ヘ 時間季節、實際の有無に無頓着なり、故に適當なる批評を下

し、實際化せしむべし

ト 觀念不明のため要點を逸す、故に着眼點に留意せしむべし

チ 幼兒相互の畫によりて、思想を豊富にし、且つ批判せしむべ

し

リ 子供のにして、しかも技能ある繪畫、繪本、黑板畫等により

鑑賞力を養ふべし

ヌ 幼兒の思想を尊重し、其發展を妨げず益々進歩助長せしむべ

し

一本園幼兒等の畫き方に對する狀況と結果

一 畫き方の巧拙と入學後の學力殆ど相一致し、中等

程度に至るも變らざることを

一 結論 保育上畫き方の教育的價值多大なること。』

閉會に先立つて第三回全國幼稚園關係者大會につ

いての協議が起つたが結局第二回全國幼稚園關係者

大會の殘務委員に無條件で一任する事に決した。

池上會長の懇篤丁寧なる閉會の辭(代讀)があり

こゝに首尾よく會は終つた。時既に午後一時。

一同は三階大食堂に於て畫餐の饗應を受け(主催

者側よりの招待により)直ちに市内參觀に出掛けた

特に大阪商船汽船紅丸くわんまわらに便乗築港を見る事が出来た。

三日の間晴天は續いた。大會役員の心盡しは實に到れり盡せりであつた。

大會餘録

今度の大會で幹部殊にも開催地たる大阪市の役員の方々の行き届いた御世話には出席者一同の深く感銘した所でした。新柄松茸狩や遊山の好季節として市内の旅館は何處も満員の有様その際に遠來の出席者のために宿の世話までして下さつた御親切には全く恐縮の外はありません。一室に數人陣取る様になりましたが、これが反つて皆にとつては親睦の好機會でした。公會堂から歸つて、やれ／＼と疲れをやすめると、一室の數人さては隣室の方々まで招き入れて車座になつて話が初まります。お互に初めて出會つた異郷の人々、わからない方言の會話もかへつて親しみの種となります。心打ひらいて面白い事可笑しい事打興じての物語りは、同じ道に拂はる人の同じ心に一致する嬉しさでせう。ことにも最終の日の夜はまた一しほ樂しい集りが彼方の室此方の隅に開かれました。夜は更けて行きますしかし話はつきません。「さあ來なされ／＼」と寝巻姿になつた誰彼もこの車座のまとぬに呼ばれます。柿がむかれる。蒸菓子むしこがひらげられる。兩手をつかれてたゞ口だけで煎餅を食べ様とする藝當の練

習に餘念のない熱心家もあらはれる。「召しあがれ／＼今宵限りの饗宴に花が咲きます。私は餘興係りです」と町で買つて來た玩具おもちゃをならべてブリキの鶏を板の上に歩かせるのに夢中の人もあります。まゝいと道具を鑑賞しながら人生を論ずる人もあります。「本當に私達わたしたちは幸だ、子供を遊ばせてあるお蔭で子供の様な氣分でいつも若々しく楽しい氣持ちが何處へ何つても去らない」と一座の中の年長の人ひとが云ひ出します。「旅に來てゐながら旅の氣分が少しもしない、右を見ても左を見てもお友達ばかり」とニコ／＼する初旅の若い先生もあります。明日はまた西に東にわかれて行く人達が僅か三日の間に十年の知己の様な親しさに、別れを惜しむ心持ちには云ひきれぬ床とこさがあります。(T 子)

○倉橋主幹の留學

本會主幹倉橋惣三先生には今回文部省より英米佛に留學を命ぜられ、向ふ約二年間海外に遊學さるゝ事となりました。本會のために、又ひろく我が教育界のために誠に慶賀の至りであります。

先生は來る十二月十三日横濱出帆のコレア丸で渡米なさる事に略内定されたそうです。